

三小タイムズ

令和2年9月1日発行 校長 辻 久恵

算数授業（2年生）

単元名 さんかくやしかくの形をしらべよう

本時のねらい

辺や頂点の数に着目して図形を分類する活動を通して、三角形、四角形の意味や性質を理解する。

学習の展開

○前時を振り返り、本時のめあてを確認する。

- ・ 前回のパズルで使った8種類ピースので何か気付いたことがありましたか。

☆角だけ同じものがあった。

☆形も大きさもまったく一緒のものがあった。

- ・ いろいろな形の中にも、似たものやある部分だけ同じものがありました。

形の特徴を見付けるために仲間分けをしましょう。

かたちのなかま分けをして、とくちょうを調べよう。

○前時で使用したパズルピースを2種類に仲間分けをする。また、どのように分けたか説明をする。

- ・ どのように仲間分けをしましたか。

☆三角と四角で分ける。

☆大きいものと小さいもの。

- ・ どんな形が三角で、どんな形が四角か説明できますか。

☆直線の数が3本のものと4本のもの。

☆角が3つのものと4つのもの。

- ・ 仲間分けした図形の直線の数に着目し、「三角形」と「四角形」という用語について知る。

- ・ 四角形や三角形を構成する直線を「辺」辺同士が接してできる点を「頂点」ということを知る。また、三角形も四角形も辺と頂点の数が同じであることを知る。

○本時のまとめをする。

- ・ 3本の直線に囲まれている形を三角形という。
- ・ 4本の直線に囲まれている形を四角形という。
- ・ 図形の直線を辺という。
- ・ 図形の角の点をちょう点という。
- ・ 三角形も四角形も辺と頂点の数は同じ。

